

陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ稚仔分布調査結果について

本調査は、令和7年3月4日に陸奥湾湾口周辺海域の主要6地点で、試験船・青鵬丸(65トン)でボンゴネット往復傾斜曳(水深0～50m)により実施しました。その結果、イカナゴ類の採捕はなく(図1)、主要調査地点の2～3月平均稚仔分布密度は昨年と同様の0個体/m³となり、これまでの調査で最も低い水準が継続しています(図2)。(担当：資源管理部)

※令和7年度の陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ漁は、操業自粛が決定しています。

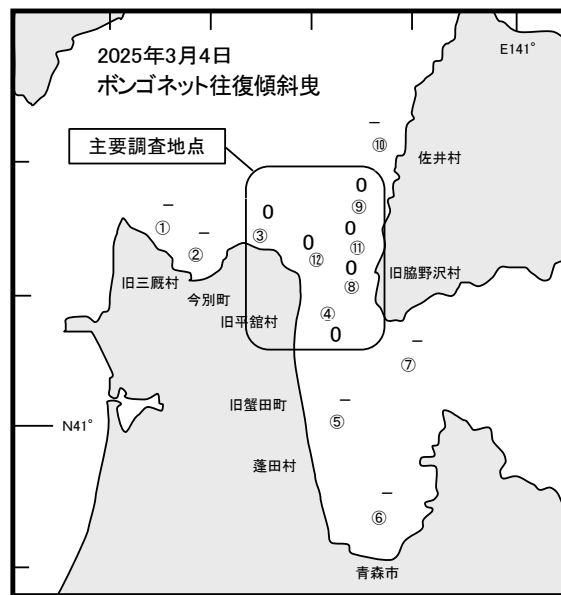


図1 各調査点におけるイカナゴ類の出現個体数（-：欠測）

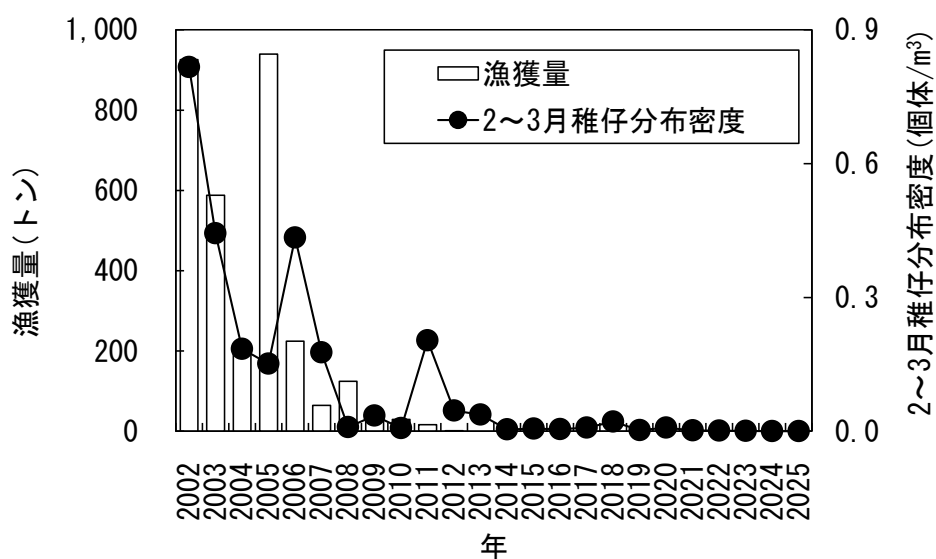


図2 イカナゴ類漁獲量(外ヶ浜町～佐井村)と稚仔分布密度(主要調査地点平均値)の年推移